

畑瀬真理子論文『戦間期日本の為替レート変動と輸出』
へのコメント用レジュメ

ワークショップ「資産価格変動と政策対応
- 両大戦間期の日本の経験から - 」

2001年12月20日 日本銀行金融研究所

一橋大学経済研究所 深尾京司

1931年の金輸出再禁止を契機に生じた円的大幅下落が、輸出増加に果たした役割を分析

論文の構成と発見

- ・ 為替レートと輸出の動向を概観
- ・ 先行研究をサーベイ
- ・ 朝鮮、米国、インドの日本からの輸入関数を推計
三環節貿易論（名和、行沢・前田、等）に対応

	輸出	輸入
対先進国（米国等）	生糸	工業製品・綿花
対後発国（インド等）	綿製品	重工業原料
隣接国（朝鮮等）	工業製品	食料・石炭

- ・ 発見：米国輸入の価格弾力性は低い、GDP に反応
インド輸入の価格弾力性は高い
朝鮮輸入は GDP と日本からの投資に反応
- ・ 植民地の特殊性・貿易制限に言及

コメント

- 1) 確かに代表的な輸出先が分析対象とされているが、マクロ経済的に見て、円安がどの程度の効果を持っていたかの評価が行われていない。マクロの輸出・入関数の推定がデータの制約のため困難であれば、他国への輸出動向も見ておくことが望ましい。

1935 年における総輸出に占める割合

朝鮮：17% 米国：16% 東南アジア（隣接国以外）：19%

- 2) 地域別に輸出・入を見ると（図1）

- ・ 植民地については輸出と輸入はほぼ同様に増えている。交易条件が変化していないことを考慮すると、おそらく本土へのネットの景気刺激効果は極めて限られていた。（輸入増について分析対象外）
- ・ 関東州、満州への純輸出は急増した。（分析対象外）
- ・ 先進国への輸出は停滞した（米国につき分析）。この期間、実質 GDP が 30% 以上増加したにもかかわらず、主に先進国からの工業製品輸入がほとんど増加しなかった。目覚しい輸入代替が起きた。（分析対象外）
- ・ 後発国への輸出が急増（インドにつき分析）

3) 各国の為替レート動向について。実質実効レートの視点が重要。Iwami, Okazaki, and Yoshikawa (1998) は英、米、中国等いくつかの相手国に関して実質実効レートを算出。Bassino and Nakagawa (2001) 等を使えば、より多くの国を対象に実効レートが算出可能（図2）。

4) 名目値では輸出・入はほぼ拮抗。実質値での分析が重要。しかし、畑瀬氏の方法(注37)は荒っぽく、実質化がうまくいっている保証は無い(図3参照)。円安でも相手国通貨で測った販売価格があまり下落しないと実質輸出が不変でも、円で測った名目輸出は増加。これにより為替レートの係数推定値の絶対値を大きくするバイアスが生じている可能性がある。地域別に貿易統計から実質輸出・入を算出しているようだがこれは問題あり。

- 5) 朝鮮への輸出への投資額の影響は見せかけのものかもしれない。

6) 1925 年において日本の輸出の 68% は繊維品。生糸、綿布に関するサプライ・サイドの分析や、英国等競争相手との比較が重要ではないか。

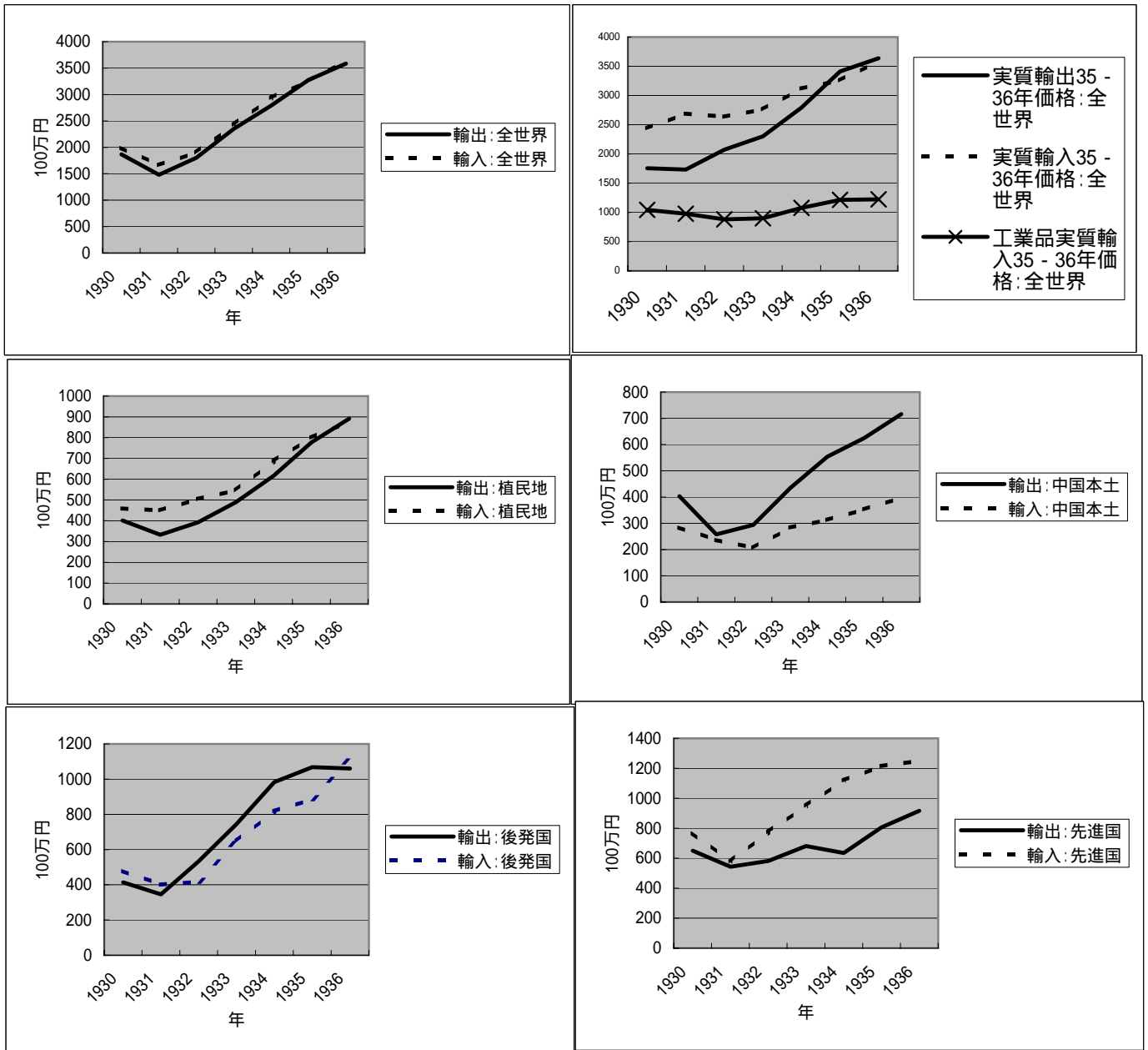
7) デフレへの影響という意味では、輸入インフレがデフレ脱出を助けたか否か、通貨価値下落の対外投資や国内長期金利への影響、交易条件の悪化によって実質賃金や対外債務実質残高にどのような影響があったか等も興味深い問題。

- 8) 日本の植民地との貿易については

溝口・梅村編『旧日本植民地経済統計』東洋経済

が詳しい。例えば日本から朝鮮への輸出に関東州等への輸出の通過貿易がどれくらい含まれているかといった問題まで検討されている。

図1. 日本の地域別輸出入:1930 - 36年



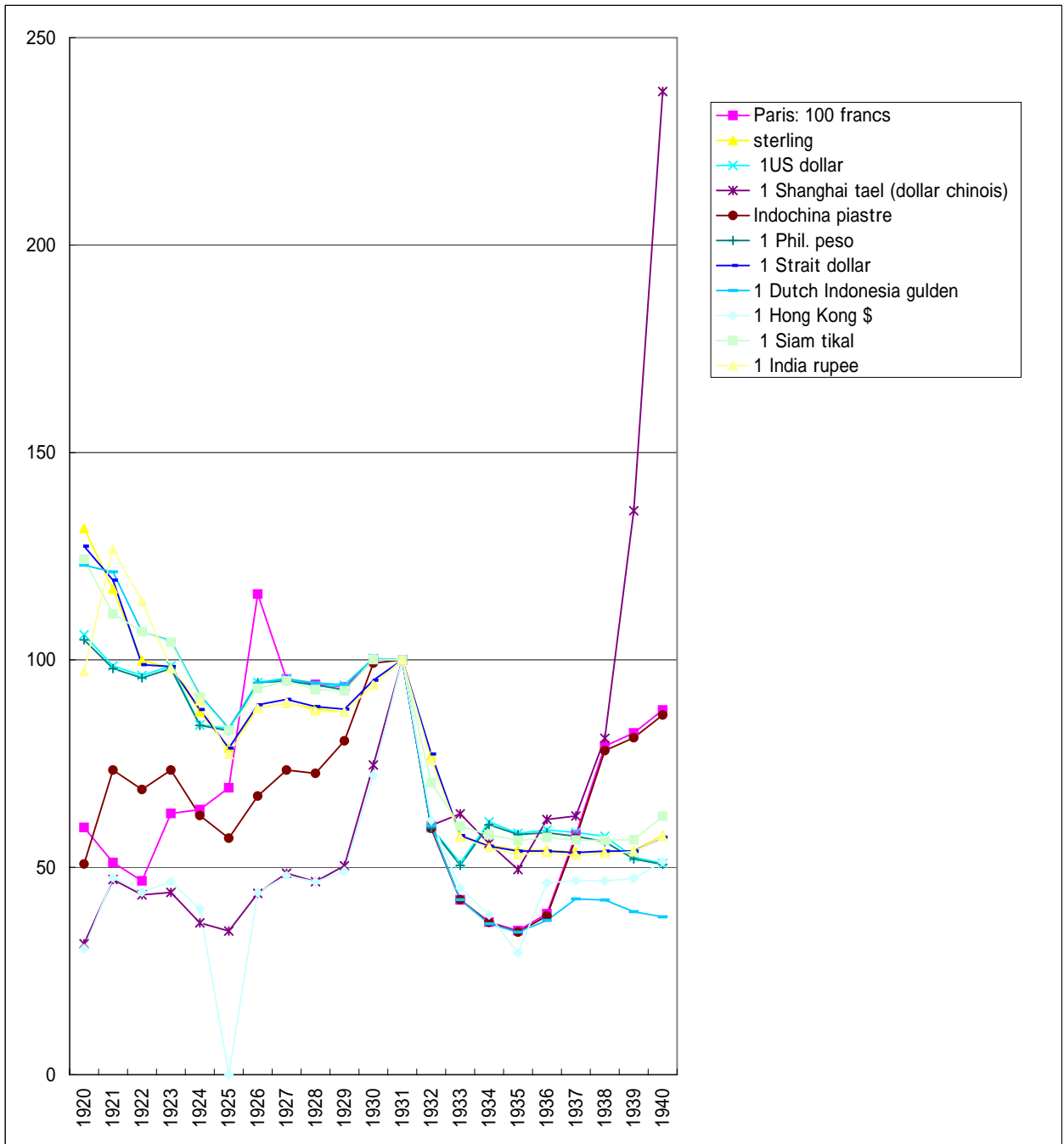
資料: 山澤・山本『貿易と国際収支』

地域年	植民地朝鮮	植民地台湾	隣接国・地域 関東州	隣接国・地域 満州	隣接国・地域 中国	隣接国・地域 香港	後発国 露領アジア	後発国 東南アジア	後発国 その他アジア	後発国 中南米	後発国 アフリカ	後発国 大洋州	先進国 ヨーロッパ	先進国 北米	合計
1930	240.7	218.6	121.4	0	161.7	0.5	37.2	130.9	180.8	7.2	24	98.2	279.8	489.1	1990.1
1931	249	201.4	90.2	41.9	103.7	0.5	30.9	93.3	133.5	7.3	18.2	117.5	199.7	378	1665.1
1932	282.1	222.7	76.7	51.6	77.2	1	31.1	96	117.3	5.4	27.5	139.9	225.3	549.4	1903.2
1933	315.9	230.7	20.2	147.9	113.4	2.1	31	136.7	207.3	13.3	48.4	211.4	282.8	667.7	2428.8
1934	407.7	279.4	27.3	164.2	119.6	1.5	32.7	165.1	301.7	24.8	79.6	214.3	295.6	823.5	2937
1935	485.9	314.2	25.5	191	133.8	2.8	3.4	201.5	311.9	50.9	69.2	248.9	352.3	862.2	3253.5
1936	518	358.9	33.8	205.6	154.8	3.3	6.8	274.9	381	134	108.1	210.5	330.1	920.7	3640.5

年	輸出:植民地	輸出:隣接国・地域	輸出:後発国	輸出:先進国
1930	459.3	283.6	478.3	768.9
1931	450.4	236.3	400.7	577.7
1932	504.8	206.5	417.2	774.7
1933	546.6	283.6	648.1	950.5
1934	687.1	312.6	818.2	1119.1
1935	800.1	353.1	885.8	1214.5
1936	876.9	397.5	1115.3	1250.8

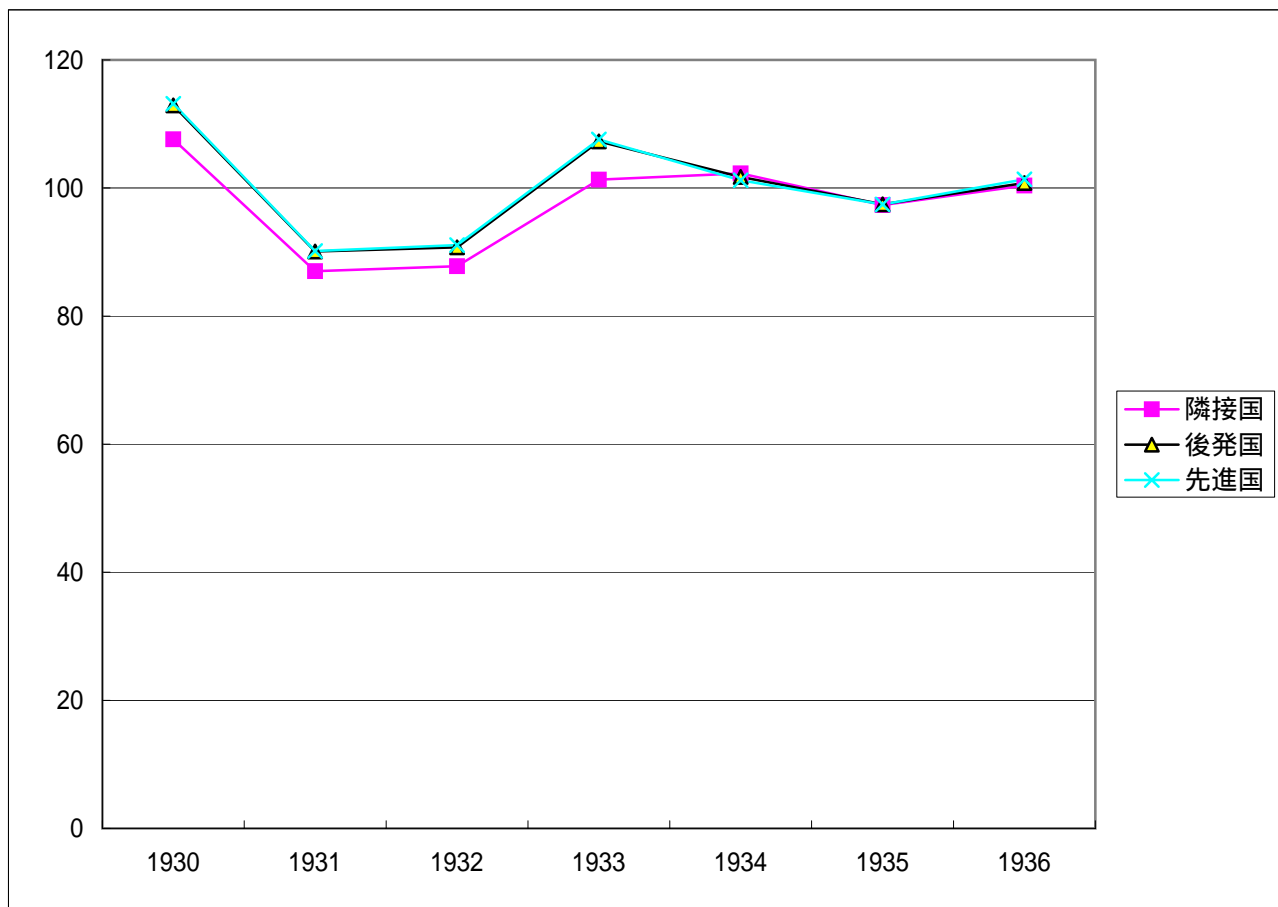
図2. 円レートの推移

各国通貨 / 円、 1931年 = 100



出所: Bassino and Nakagawa "Exchange rates and exchange rate policies in Vietnam under French rule," AoyamaGakuin Univ., 2001.

図3. 畑瀬氏の方法で作成した日本の仕向け地別輸出価格デフレーター



輸出年	加工食料品	繊維品	木製品	化学品	窯業品	金属品	機械	雑製品	粗食料	繊維原料	金属原料	石炭・石油粗原料
1930												
1931												
1932												
1933												
1934												
1935												
1936												

年	食料品	原・燃料	繊維品	非金属鉱物製品	その他の軽工業品	化学品	金属品	機械
1930	0	103.5	115.6	116.1	0	93.4	97.7	103.2
1931	0	95.7	90.3	112.4	0	77.4	79.8	81.2
1932	0	95	91.6	108.2	0	77.2	82.4	78.5
1933	0	89.8	111.2	107.9	0	92.1	99.9	88.3
1934	0	99.7	101	107.6	0	93.5	101.8	122.6
1935	0	100.2	97.3	97.9	0	100.8	99.9	91.9
1936	0	100.1	101.7	94.5	0	105.7	98.3	85.5

地域別輸出構成	食料品	原・燃料	繊維品	非金属鉱物製品	その他の軽工業品	化学品	金属品	機械	
25隣接国	18	5	43	2	9	4	5	4	90
25後発国	5	3	70	5	9	2	2	1	97
25先進国	3	2	86	2	4	2	0	0	99

地域別輸出構成	食料品	原・燃料	繊維品	非金属鉱物製品	その他の軽工業品	化学品	金属品	機械	
35隣接国	15	7	25	3	10	8	13	15	96
35後発国	4	2	71	4	6	3	5	5	100
35先進国	9	9	65	3	5	2	1	4	98

隣接国年	食料品	原・燃料	繊維品	非金属鉱物製品	その他の軽工業品	化学品	金属品	機械	平均
1930	0	6.677419355	42.26236559	3.120967742	0	6.025806452	9.45483871	10.54193548	78.08333333
1931	0	6.174193548	33.01290323	3.021505376	0	4.993548387	7.722580645	8.294623656	63.21935484
1932	0	6.129032258	33.48817204	2.908602151	0	4.980645161	7.974193548	8.018817204	63.49946237
1933	0	5.793548387	40.65376344	2.900537634	0	5.941935484	9.667741935	9.019892473	73.97741935
1934	0	6.432258065	36.92473118	2.892473118	0	6.032258065	9.851612903	12.52365591	74.65698925
1935	0	6.464516129	35.57204301	2.63172043	0	6.503225806	9.667741935	9.387634409	70.22688172
1936	0	6.458064516	37.18064516	2.540322581	0	6.819354839	9.512903226	8.733870968	71.24516129

後発国年	食料品	原・燃料	繊維品	非金属鉱物製品	その他の軽工業品	化学品	金属品	機械	平均
1930	0	2.626903553	82.73908629	5.304060914	0	2.370558376	3.471573604	3.143147208	99.65532995
1931	0	2.42893401	64.63096447	5.135025381	0	1.964467005	2.835532995	2.473096447	79.4680203
1932	0	2.411167513	65.56142132	4.943147208	0	1.959390863	2.927918782	2.390862944	80.19390863
1933	0	2.279187817	79.58984772	4.929441624	0	2.337563452	3.549746193	2.689340102	95.3751269
1934	0	2.530456853	72.2893401	4.915736041	0	2.373096447	3.617258883	3.734010152	89.45989848
1935	0	2.543147208	69.64111675	4.472588832	0	2.558375635	3.549746193	2.798984772	85.56395939
1936	0	2.540609137	72.79035533	4.317258883	0	2.682741117	3.492893401	2.604060914	88.42791878

先進国年	食料品	原・燃料	繊維品	非金属鉱物製品	その他の軽工業品	化学品	金属品	機械	平均
1930	0	5.779187817	88.6071066	2.946700508	0	1.896446701	0.495939086	2.095431472	101.8208122
1931	0	5.343654822	69.21472081	2.852791878	0	1.571573604	0.405076142	1.648730964	81.03654822
1932	0	5.304568528	70.21116751	2.746192893	0	1.56751269	0.418274112	1.593908629	81.84162437
1933	0	5.014213198	85.23451777	2.73857868	0	1.870050761	0.507106599	1.792893401	97.15736041
1934	0	5.567005076	77.41624365	2.730964467	0	1.898477157	0.516751269	2.489340102	90.61878173
1935	0	5.594923858	74.58020305	2.484771574	0	2.046700508	0.507106599	1.865989848	87.07969543
1936	0	5.589340102	77.95279188	2.398477157	0	2.146192893	0.498984772	1.736040609	90.32182741